

●今月の法語カレンダー●  
仏法不思議ということは  
弥陀の弘誓になづけたり

「高僧和讃」からの法語です。「仏法不思議」ということは、煩惱まみれの私を仏にさせたくださる阿弥陀如来の仏法力（本願力）不思議に名づけられたのであります。示されず。都合がいいと自分の手柄と傲慢になり都合が悪いと人のせいと卑屈になり、自己中心に生きていく私にたがいます。「仏の鏡を見ると自分自身の存在がよくわかる」という言葉があります。愚かな私があるゆるもののおかげと犠牲の上に今生かされていくこと。合わせる手にお念仏する声に、阿弥陀如来のはたらきが思われます。

5月の行事

- 朝の日曜礼拝 午前7時
- お参り・御文章・7分法話 3/10/17/24/31日
- 永代経法要・門信徒総会 17日(日)
- 午前11時半 総会
- 午後1時半 永代経法要
- 千葉組親鸞聖大遠忌法要 31日(日) 千葉文化センター
- 納骨堂合同参拝 2日(土) 午前10時

- れんげ会(仏教婦人) 8日(金) 親睦会
- 仏教壮年会 23日(土) 午後3時
- ボラン寺(寺報送作業) 29日(金) 午前9時
- 雅楽教室(龍笛・箏・笙のお稽古) 16日(土) 午後3時
- 30日(土) 午後3時
- ヨーガ教室 午前12時半
- 13/27日(水)



- 門信徒会役員会 2日(土) 午後2時
- 写経会 お休み

6月の行事

- 仏教講座会 20日(土)
- 写経会 20日(土)
- 納骨堂合同参拝 6日(土)
- れんげ会 9日(火)
- (アソカ園ボランティア)
- 仏教壮年会 27日(土)
- ボラン寺 30日(火)
- 雅楽教室 21日(日)
- ヨーガ 10/24日(水)

行事はすべて参加自由です

永代経法要のご案内

今月「永代経法要」が厳修されます。「永代経」とは、「永代にわたってお経が読まれる」との意味で、お寺が末永く護寺され、子や孫の代までみ教えが繁盛するようにとつとまります。ま

# 永代経法要のご案内

新緑が美しい季節となりました。日頃よりお寺の活動にご理解、ご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

今月は「永代経法要」をおつとめいたします。「永代経」とは、亡き方々のお心を受けお念仏のみ教えを聞かせていただき、そのよろこびを次の世代へと伝えていく大切な法要です。ぜひご家族そろってお参り下さい。

また午前中には「門信徒会総会」が行われます。お寺は門信徒の皆さまによって支えられています。ご多用とは存じますが、ぜひ総会にもご出席いただきたくお願い申し上げます。なお総会の返信は5月13日必着です。ご協力ください。

**【日 時】 5月17日(日)**

**門信徒会総会 11時半～(受付11時)～12時半**  
**お齋(昼食) 12時半～13時**  
**永代経法要 13時半～(受付1時)～16時半**

**「新しき始まり」** 一親鸞聖人750回大遠忌テーマ

**仏教讃歌ミニコンサート♪**  
 天真寺20周年記念「仏教讃歌20」CD完成ミニコンサート



**ご法話 瀧 淵 良 孝 師**

本願寺派布教使・広島県正覚寺住職・元伝道院専任講師

2008年春の法要においてご門主さまによって、新「浄土真宗の教章(私の歩む道)」が制定されました。この度新しい教章についてお話いただきます。

天真寺門信徒会・婦人会・壮年会の役員の方には、午前10時に集合いただきますよう、お願い申し上げます。また法要後に役員さんの親睦会を行いたく思いますので、こちらもご予約ください。

たお心のあ  
 る方には、  
 年忌法要な  
 どを一つの  
 ご縁として  
 懇志を納  
 め、亡き方  
 を偲び、法  
 要を通して  
 伝えられて  
 きたお念仏  
 のい  
 われを聞か  
 せていただき  
 ます。この  
 縁に永代経  
 懇志をお考  
 えが  
 いらつしや  
 いましたら、  
 ご  
 相談ください。

今月は門信徒会の年会費納入をお願いしております。事務の都合上5年前納いただけですと大変助かります。期限までにお納めいただけますようご協力ください。あわせて、総会の出欠ハガキの返信必着は13日です。入会案内が届いた方には、ご入会いただけましたら、ようお願ひいたします。ご不明な点はお寺までおたずねください。

合掌



(昨年の法要の様子)



## 「れんげ会」親睦会のお誘い

れんげ会では先月総会を無事に終えることができました。参加下さった役員また会員の皆さまには、深くお礼申し上げます。今月は毎年恒例となっております、幕張のホテル「マンハッタン」にての親睦会となります。ランチビュッフェで美味しいお食事をいただき、会員同士の親睦を深め、楽しく過ごしましょう。

【日時】5月8日(金) 午前10時20時

JR武蔵野線「新八柱」駅改札口にお集まりください 会費1000円  
参加希望の方はお寺までお知らせください 門信徒女性ならどなたでもどうぞ♪

## 天真寺門信徒会旅行のご案内

6月3日(水)～4日(木)新緑の美しい季節、1泊2日で福島を巡り、大内宿(江戸時代の宿場村)と会津若松を訪れます。お寺までバス送迎があり、無理なくゆっくり楽しんでいただける行程ですので、ぜひご参加ください。



お一人でのご参加もご心配なく。旅行費用¥19000、定員25名。希望者は**参加申し込み受付中**です。



### ご法話を聞いて

4月の仏教講座会にお参りし、若住職の京都時代の先輩である、若手布教使の大江宏玄師のご法話を聴聞し、深く仏教の教えに感動を受けました。



はじめにオスカー受賞映画『おくりびと』をテーマにお話をいただき、原作者・青木新門さんが伝えたかった心は、「亡き人が何処へ往ったのか、娑婆の命が尽きた時、私の命がどうなつてゆくのか」であったことを知り、「おくりびと」に間違いはないが、「おくりびと」でもあるわけですね。次には「他力といふは如来の本願力なり」、他力の真意について。印象に残ったお話は、芥川龍之介さんの『蜘蛛の糸』

### 住職の独り言

「仏さまはごんごん」



4月8日はお釈迦さまの誕生日。お釈迦さまは別にして、仏さまは「いるの、いないの」？「いる」なら私に見せてくれ！と言う人がいる。あるいは「神も仏もあるものか」よく聞く言葉である。仏さまは月や太陽のように形としては示されませんが、仏さまは「心」に感じたり、心に響いてくる「もの」だと思ふ。心に感じたり響いてくるといふことは形で表現できない。テレビの電波は流れていてもアンテナがなければテレビは映らない。仏さまがいないのではなく、仏さまを感じる心がないから。仏さまのお心が至り届き、その感じる心(響き)を信心と言われるのではないのでしょうか。その感じる心(響き)は自分で造り出すものではなく、仏さまから与えられる心であります。

より。極楽浄土のお釈迦さまの前に蓮の花の池があり、その池の下には針山の地獄があつた。その池にカンダタが落ちてしまう。池の端には蜘蛛がいて、その蜘蛛は以前カンダタに助けられたことがあつたため、チャンスを与えようと糸を蓮の池に下ろした。カンダタは地獄から極楽浄土に往こうと糸につかまるが、地獄にいる多くの人が一斉に糸につかまつたので、糸は切れてしまう。これが「自力」の救いです。それを見てお釈迦さまはあまりにも可哀相だと思ひ、もう一度蜘蛛に頼み糸を下ろしてもらい、お釈迦さまが阿弥陀仏として地獄へ下りて行き、カンダタを抱いて極楽浄土へと上がつてきてカンダタを助ける。これが「他力」の救いであると聞かせていただきました。



### 活動報告

★壮年会の小林さんがお茶会をひらいてくださいました。お花を愛でながら、美味しいお茶とお菓子をいただき、春のひとときを楽しみました。



★千葉組の壮年会の発会式が築地本願寺にて行われ、5名が代表として参加してくださいました。

毎月第4土曜日 午後3時  
壮年会員募集中です！

★「天真寺キッズクラブ」ではふれあい農園で苗植えをしました。今回はみなみちゃんとりんたるうくんがお手伝いしてくれました。ふれあい農園はどなたでも作業できます。お寺まで声をかけてください。



もう一つ感動を受けたお話は、お母さまを亡くされたお嬢さまが葬儀で、「母の過酷な看病のときつい寝てしまった私に、母は自分の苦しみを我慢し私を抱いて子守歌を歌ってくれました。私は母の苦しみを看っていたのではなく、看っていたのは母の方でありました」と語られたそうです。この母の思いこそが仏さまの思いであり、阿弥陀さまの南無阿弥陀仏の中に込められているのだとお話いただきました。たくさんの尊いご法話をお聴聞させていただきました。ありがとうございます。

鶴丸延子さん(常盤平)

天真寺の墓地  
「大町やすらぎパーク」北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地。ご希望の方はお寺までご相談ください。特別区画残り約50区画。現在「永代合葬墓」を計画中。



### 天ちゃんの一言



れんげ会の方々が昨年球根で植えてくださったチューリップが、見事に咲きました。色とりどりの美しさに、お参りに来る方々の目を喜ばせてくれました。どの花もどの色もとてもキレイ。精一杯咲くすがたに、それぞれのいのちがそれぞれ輝きがあること、お花を通して教えてもらいます。



門信徒会入会のご案内  
どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。

(発行元)

浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県松戸市金ヶ作106

047-389-0808

【ホームページ】

<http://www.tenshin.or.jp>